

避難所運営図上訓練を実施しました



8月31日(日)、自主防災組織及び防災団を対象に避難所運営図上訓練として、「HUG(避難所運営ゲーム)」を実施しました。

訓練には27名が参加し、避難所の運営における自主防災組織や防災団の役割を確認するとともに、次々と避難所にやって来る避難者の状況や要望を考慮しながら、避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学びました。



HUG(避難所運営ゲーム)とは

災害時の避難所を「単なる受け入れ場所」ではなく、避難者の安全と健康を守る「小さな社会」として捉え、その運営を疑似体験できるシミュレーション型訓練です。食料や物資の配布、衛生管理、トラブル対応など、実際の避難所で直面する多様な課題に取り組みながら、必要な知識とスキルを身につけます。

災害時、ペットはどうする？

災害は突然やってきます。そんなとき、家族の一員であるペットをどう守るか、考えたことはありますか？



町では「ペット同行避難」を推奨しており、避難所でペットを受け入れる体制づくりを進めています。災害時に「うちの子を置いていけない」と悩まないために、今からできる準備を始めましょう。

●「ペット同行避難」とは…

災害発生時に、飼い主がペットと避難所等まで避難すること。同行避難とは、ペットと共に移動を伴う避難行動をすることを指し、避難所等において飼い主がペットを同室で飼養管理することを意味するものではありません。

●平時からの備え

災害時に備えて、飼い主は平時からペットの避難準備を整えておく必要があります。フードや水、ケージなどの避難用品の備蓄や、しつけや健康管理(各種予防接種等)を行い、他人やケージ等に慣れさせておくことが大切です。また、ペットの情報(写真・健康記録・連絡先)を整理し、避難先の確認や迷子対策(名札やマイクロチップの装着)も忘れずに行いましょう。



●ペットのための非常持ち出し品チェックリスト

チェック	必要なもの(最低限)	備考
<input type="checkbox"/>	フード・水	最低3日分、食器もあわせて準備
<input type="checkbox"/>	ケージ・キャリーバッグ	
<input type="checkbox"/>	リード・首輪・迷子札	
<input type="checkbox"/>	トイレ用品(ペットシーツ・ビニール袋など)	排泄物の処理用具もあわせて準備
<input type="checkbox"/>	常備薬	
<input type="checkbox"/>	飼い主とペットの情報	緊急連絡先や予防接種記録等
<input type="checkbox"/>	ペットの写真	迷子時の捜索に役立ちます

ローリングストックで日常から防災

季節の変わり目は、暮らしの備えを見直すチャンスです。防災食も定期的なチェックが大切です。

ローリングストックとは、普段食べている保存食を少し多めに買い置きし、日常の中で消費しながら使った分を補充していく備蓄方法です。無理なく続けられ、災害時にも安心して食べ慣れたものを確保できます。

●備蓄のポイント

- ・レトルト食品、缶詰、乾麺などを多めにストック
- ・賞味期限を意識して、定期的に食べて入れ替える
- ・水やお菓子、栄養補助食品も忘れずに

●ペットの備蓄も行おう

- ・フード、水、トイレ用品などを数日分備蓄
- ・食べ慣れたものを選び、定期的に入れ替えましょう



普段の食事が、もしもの備えに。ローリングストックで、家族の安心を日常から育てましょう。

「夏休み防災自由研究」入賞者のお知らせ

今年で11回目を迎えた「夏休み防災自由研究」には、町内の各小学校からたくさんの作品が寄せられました。応募された作品は、地震や水害、停電への備えなどに関するさまざまなテーマに取り組まれており、どれも創意工夫がなされた素晴らしい作品でした。

令和7年度の入賞者は、次の皆さんです。たくさんのご応募、本当にありがとうございました！

夏休み防災自由研究入賞者

【下学年（1～3年生）の部】

最優秀賞	藍住北小学校	3年	曾 場 耀 介	さん
優 秀 賞	藍住西小学校	3年	中 本 璃 和	さん
入 選	藍住北小学校	3年	岡 田 優 叶	さん
入 選	藍住東小学校	3年	米 田 章 人	さん

【上學年（4～6年生）の部】

最優秀賞	藍住東小学校	5年	形 部 聖琉那	さん
優 秀 賞	藍住北小学校	5年	久 積 美 晴	さん
優 秀 賞	藍住北小学校	4年	田 中 綾 乃	さん
入 選	藍住北小学校	4年	薄 井 夏 花	さん
入 選	藍住南小学校	5年	松 田 快 斗	さん
入 選	藍住東小学校	5年	三 木 かのん	さん



大地震に備えよう！

地震はいつ起こるかわかりません。いざという時に命を守るためにには、日頃の備えが何より大切です。町では、皆さんの地震対策を推進するため、様々な補助事業を実施しています。ぜひこの機会に、住まいや暮らしの安全を見直してみませんか？

1 木造住宅耐震診断支援事業

過去に発生した大地震では、多くの古い木造住宅が倒壊等の被害を受けました。この事業では、大規模な地震に対し、ご自宅がどの程度の安全性があるかを判定する「耐震診断」を自己負担3,000円で受けることができます。



(1)対象住宅 平成12年5月31日以前に着工された3階建て以下の木造住宅

(2)費用 3,000円

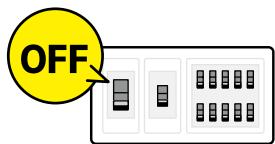
(3)申請期限 令和7年12月26日(金) 午後5時まで

(4)町ホームページ <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900037/>



2 感震ブレーカー取付支援事業

震度5強以上の地震が発生した際に揺れを感じし、住宅内の電気を遮断する装置(感震ブレーカー)の購入・取付けに係る費用の一部を補助します。地震に起因する火災の発生防止を目的としています。



(1)対象者 次の全てに該当する方(世帯主に限る)

- ・藍住町に住所を有し、かつ、居住し、町税等の滞納がない方
- ・過去に同様の補助金の交付を受けていない方

(2)補助金額 上限15,000円(補助率1/2)



(3)申請期限 令和8年3月31日(火) 午後5時まで

(4)町ホームページ <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900051/>

3 家具転倒防止器具等取付支援事業

家具・家電の落下や転倒、ガラスの飛散等を防止する器具の購入・取付けに係る費用の一部を補助します。地震時における家具・家電の転倒、ガラスの飛散による負傷や避難経路の閉塞を防止することを目的としています。



(1)対象者 次の全てに該当する方(世帯主に限る)

- ・藍住町に住所を有し、かつ、居住し、町税等の滞納がない方
- ・過去に同様の補助金の交付を受けていない方

(2)補助金額 上限15,000円(補助率1/2)



(3)申請期限 令和8年3月31日(火) 午後5時まで

(4)町ホームページ <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900075/>

各補助事業の詳しい内容については、町ホームページをご確認いただくか、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ：役場3階 総務課危機管理室(☎088・637・3111)